

平成29年8月31日

**科研費の挑戦的研究（開拓）に
本学から4件が採択されました**

【概要】

文科省の競争的資金の1つである「科学研究費助成事業」（科研費）は、最も規模が大きく、歴史もある個人向け研究資金です。今年度新たに設けられた種目である挑戦的研究（開拓）に、下記のとおり本学から4件が採択されました。

広島大学では、科研費の獲得増に向けたメリハリのある研究活動活性化の支援を行っています。特に、融合分野、新学術といった大型プロジェクト化を推進しているところです。本種目に本学から採択された4件は人文科学、工学、医学・健康科学の各分野にわたり、DP（Distinguished Professor）や女性研究者が研究代表者となっています。

本学は更なる研究活動活性化のため、今後も積極的に研究支援を行うこととしております。

研究課題名	研究代表者 (所属等)	研究分野	総配分額 (千円)
日本の学術体制史研究 ―研究基盤となる日本学術会議資料整備と研究環境構築の検討―	久保田 明子 (原爆放射線医科学研究所 助教)	歴史学、考古学、博物館学及びその関連分野	18,330
ネイチャーテクノロジーを用いた金属・難分解性排水の新規生物学的処理技術の開拓	大橋 晶良 (工学研究科 教授)	土木工学及びその関連分野	26,000
2本鎖DNAを使用せず高度の安全性を保障する遺伝子治療の開発	茶山 一彰 (医歯薬保健学研究科(医) 教授)	内科学一般及びその関連分野	26,000
健康寿命の延伸に向けた若返り研究マウスモデルの開発	神谷 研二 (副学長(併)原爆放射線医科学研究所 特任教授)	健康科学及びその関連分野	25,740

◇広島大学 応募17件→採択4件(採択率23.5%)

◇挑戦的研究の概要（公募要領より）

一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究計画を対象。

研究期間：3～6年間

※研究種目の趣旨に沿った研究課題を厳選

※応募額を最大限尊重した配分を実施（充足率は原則100%）

◇応募・採択状況（全国）：応募1,116件→採択94件（採択率8.4%）

【お問い合わせ先】

広島大学社会産学連携室 研究企画室

高度専門職（併）室長 小左古

TEL:082-424-5860 FAX:082-424-4592